



# ネリーズ通信

第20号 2021年9月

編集発行責任者 社会福祉法人 練馬区社会福祉協議会



## ネリーズ紹介 No.17

ネリーズは日々の暮らしの中で、近隣の方たちとつながっていくことで、ゆるやかに見守りあい、誰にとっても暮らしやすい地域づくりを目指している地域の皆さんです。

川合さんは石神井地区の地域活動団体、子ども支援「ぼれぼれ」で活動されています。

川合さんの元ご自宅を改修した「ぼれぼれ」は、家族が暮らした息吹がそこかしこに感じられる居心地の良い空間でした。川合さんの温かい人柄と物語に引き込まれながらお話を伺いました。



住宅街の中にある事務所。ステキな木の看板が目印です^^)

### 必要な人がいる限り、 自分にやれることを。 かわい みどり 川合 碧さん

仕事を引退した翌日から(!)「子ども支援ぼれぼれ」で活動をしています。ぼれぼれは、定年まで勤めた児童養護施設の元同僚である友人が「行政の網からもれる人を支援したい」との思いで、立上げた団体です。

私は二十歳で児童養護施設の職員になり、さほど歳の変わらない子どもたちの「おかあさん」役を引き受けることになりました。親の愛情という根っこの部分が育っていない子どもも多く、私の愛情を試そうと、わざと困らせる行動をとる子たちもいます。それでも、定年までここで働きたいと思うほど、大切で魅力的な仕事でした。少しでも子どもたちの環境を良くしたいと、官・民の壁を超えて養護施設の職員同士が学び合ってきました。状況というものには自然には変わらず、変えていくエネルギーが必要だと感じます。夫とも、そんな中で出会いました。今のぼれぼれの活動も理解をしてくれ、支えてくれています。喧嘩もしたことのないくらい仲良しです(笑)。

ぼれぼれの活動は、手弁当。それでも自分がやりたくてやっています。必要な人がいる限り、自分にやれることはやろう、と思っています。今はコロナで難しいですが、バザーも開催しています。復活した際には、遊びに来てくださいね。

児童養護施設の今昔から結婚秘話、子育ての話まで、何でも教えてくれる川合さん、懐の深さに誰もがホッと安心されるだろうなと感じました。

「ぼれぼれ」はスワヒリ語で「ゆっくり、のんびり」だそうです。川合さんの穏やかな笑顔と信念を感じるゆるぎなさは「ぼれぼれ」を象徴しているように感じました。

地域で生活する様々な人にとって拠り所となる人・場所だと思います。一方、行政からの補助金がカットされ団体運営を続けていけるか危機的な状況にあるともお聞きしました。ネリーズの皆さんもぜひ「ぼれぼれ」への応援をお願いいたします!

## 私の一枚 ~ネリーズかるた~

す 少しずつ やっていきたい できること

読み札の作者エピソード：自分は何もできないと思っていましたが、いろいろな人の話を聞いてできることがあると気付きました。

ネリーズかるたとは…  
ネリーズになって気づいたことなど、ネリーズ懇談会などで教えていただいたエピソードをもとに、標語や絵もネリーズの皆さんにご協力いただき作成されたかるたです。

## ぶどうの木 の森さん が選んだ一枚

す 少しずつでも何かできたら、必ず喜ぶ人がいるはず。少しずつでも分け合ったら、助かる人がいるはず。みんなの少しが、大きな力になるのですね!

※ぶどうの木：DV被害体験を持つ女性たちの安心できる場の提供、相談、同行支援、母子プログラム、自立のための研修会などを開催している団体です。



## オンライン勉強会&オンラインでネリーズ懇談会を実施しました

ネリーズ懇談会に先駆けて、オンラインに触れたことのない人や、使い方に不安がある人向けに、『オンライン(ZOOM)勉強会』を策定委員※のメンバーと企画し、5月に開催しました。

6月29日(火)には『ネリーズ懇談会』をオンラインで開催。ネリーズや策定委員のメンバー合わせて20名を超える参加がありました。2つのグループに分かれ『コロナ禍における近況報告』や『コロナ後の活動』について皆さんと話し合いをしました。参加者からはコロナ禍でも楽しむ方法を見つけていることや、収束後に計画している様々な活動など、前向きな話を共有できました。これからもネリーズの皆さんと一緒に懇談の場を作っていきます!



参加したネリーズの吉田さんからひとこと  
オンラインには興味がありましたが、操作が分からなかったので、勉強会で学び、懇談会に参加出来てとても嬉しかったです。家にいながら世界が広がりました♪

※地域の住民や団体、学識経験者、行政等で構成され、地域福祉活動計画の策定や推進、進捗の評価を行う委員の皆さんです。

## ネリーズほっこりエピソード



歩道橋を歩いていると前方に絵に描いた様な虹がありました。女性二人がこちらに向かって歩いて来ますが、虹の存在を知るよしもありません。教えてあげたいと思いつつも私の脇を通り過ぎようとした時、とっさに空に向かって手を挙げて虹!虹!と叫んでしまいました。「うわあきれい。ありがとうございます」と言われコロナ禍の中ちょっと晴れ晴れとした気分になりました。  
豊玉南のフィネスさん



私の勤務先は都内の一般企業です。仕事帰りに作業所でお世話になった職員さんに会って、話かけてくれたのでうれしかったです。



例年になく、公園の「びわ」が熟れてきた。コロナ禍にも拘わらず鈴生りだ。二週間前気が付いたが、熟れるには少し早かった。子供時代の経験からいつ採れるかはすぐ判った。悪戯心が湧いてきた。早速町会仲間に話し時期を狙った。2人でバケツ2杯の収穫。延べ5杯採れた。早速高齢の仲間に配る。70代から90代へ。ここ1年余り音信不通であり、健康が案じられていた。訪ねると皆意外と元気でホッとした。一瞬にして笑顔が戻った。次の日大勢の先輩からお礼の電話があった。悪戯心が意外に役立った。  
練馬の木内さん



ヘルパーさんと買い物の帰り、庭に花がたくさん置いてある家の前で、あじさいの花がきれいですねと花の手入れをしていた人に話しかけたら、もしよかったらあじさいの花を一輪くれました。ヘルパーさんと思わず笑顔になりました。  
田柄の成島さん



駅のエレベーター内の事。ドア付近にいた私は奥の父子に「お先にどうぞ」。幼稚園に送っていくお父さん「ありがとうございます」、それを聞いた息子さん「どうしてありがとうって言うの?」お父さん「先にどうぞって譲ってくれたからだよ」



お父さん!すばらしい教育されてますね。  
早宮のだんだんさん

たくさんの投稿をありがとうございます。スペースの関係でいただいたすべてのエピソードが掲載できず申し訳ありません。今回もFAX用紙を同封しております。郵送またはメールでも構いません。皆様からの投稿をお待ちしております!!

### ◆お問合せ◆

社会福祉法人 練馬区社会福祉協議会  
〒176-0012  
練馬区豊玉北5-14-6 新練馬ビル5階  
E-mail/info@neri-shakyo.com  
TEL 03-3992-5600  
FAX 03-3994-1224